

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

「春日奥山古事の森」シンポジウム開催！！



【奈良森林管理事務所】 6月20日(土)、「春日奥山古事の森」の普及を目的に「森が支える「木の文化」」と題して、奈良春日野国際フォーラムにおいて、春日奥山古事の森育成協議会(会長:岡本彰夫春日大社権宮司)主催のもと、シンポジウムが開催されました。

当古事の森は、我が国の「木の文化」の象徴ともいえるべき、文化財に指定されている神社仏閣などの木造建造物の修復材を確保する目的で設定された森であり、200~400年という超長期にわたる取組として、平成15年に地獄谷国有林内に設定しております。

また、当シンポジウムは今回で6回目であり、20年に一度開催される春日大社の式年造替に併せての開催となり、当日は、一般参加者や協議会関係者など約300名が参加しました。

シンポジウムは、岡本会長から、開会挨拶に続いて、「式年造替と古事の森」について、ご造替にかかる修復材の不足が心配されるなど、今後の材料確保の対応が急務であるなどの紹介がありました。京都府立林業大学校長 只木良也氏から「雨が育てた森、森が育てた思考と文化」と題しての基調講演があり、「文明の前には森林があり、文明の跡には砂漠が残る」など、世界的な文明の流れや、日本においても古事記や日本書紀において、古来から樹木名が使われているなど、古くから「木」に関する事柄が示されており、日本は森林の恩恵をうまく利用する「木の文化」を生み出し、守り続けてきた。このことに引き続き取り組んでいく必要性などの話がありました。

また、植物文化史研究家 有岡利幸氏からは、「松と日本文化」と題して、松とはどんな樹木か、という話から、日本人が古くから松とともに生活し、建築用材としての利用だけではなく、絵画、詩歌、庭園など日本文化に根付いており、日本人と松の結びつきについての基調講演がありました。

お二方の基調講演後、中西康博 奈良県知事公室審議官から、「檜皮がつなぐ奈良公園の森づくり」として、奈良の歴史を守る奈良の檜皮、歴史的木造建築物の修復を担う材料を県内で確保するため、奈良公園での檜皮採取の取組事例等の紹介がありました。

最後に、小森奈良森林管理事務所長から、国有林での「若宮神社御旅所建替にかかる松材の確保」についてや松の現状などを説明し、シンポジウムの閉会となりました。

午後からは、参加者の皆様が各々、春日大社の第六十次式年造替特別拝観をしていただき帰路につかれました。

参加者の皆様におかれましては、今回のシンポジウムにおいて、木の文化がどのような形で流れ、そして、これからどのような取組が必要かを受け止めていただけたのではないかと感じております。

当所としましても、今後も春日奥山古事の森育成協議会と連携を図り、「古事の森」の普及啓発に取り組んでいくこととします。

治山・林道工事コンクール表彰式 ～高品質の工事を評価～

【計画保全部 治山課】 6月3日（水）、近畿中国森林管理局局長室において、平成26年度治山・林道工事コンクール表彰式を開催しました。

このコンクールは、管内の各森林管理署等で発注し、平成25年度に完成した治山工事及び林道工事の中から、一定規模以上の工事を対象として、発注した各森林管理署等による審査結果、工事成績、工事の施工管理記録写真を基に、受注者の工事内容の理解度、写真や施工記録の整理、編集状況、全体の出来高状況、労働安全対策、環境対策等への取組状況について外部委員を交えた審査を行います。審査の結果、高い評価を得られた工事を森林管理局長が表彰し、さらにより高い評価を得られた工事については、林野庁長官が表彰することにより、関係者の意欲高揚を図り、治山工事及び林道工事の適正化並びに施工技術や設計技術の向上に資することを目的としています。

受賞工事は以下のとおりです。（敬称略）

○優良工事（森林管理局長表彰工事）

第一部門（林道）

- ・「西山林業専用道新設工事」株式会社 目片工務店
- ・「樺木平林業専用道新設工事」株式会社 宇城組

第二部門（治山）

- ・「下も谷西側治山工事」株式会社 泉組
- ・「北湍第2号突堤外工事」大北久保建設 株式会社



○優秀工事（林野庁長官表彰工事）の現場技術者及び発注者の監督職員

第一部門（林道）

- ・「岩上谷林業専用道新設工事」を担当した株式会社 松本工務店の主任技術者 高野 一芳、兵庫森林管理署（現和歌山森林管理署）の監督職員 上田 正幸
- ・「小舟山林業専用道新設工事」を担当した株式会社 藤原組の主任技術者 岡田 忠彦、鳥取森林管理署（現兵庫森林管理署）の監督職員 西村 慎一
- ・「第二新元重山林業専用道新設工事」を担当した児玉建設株式会社の現場代理人 前原 和男、主任技術者 中間 信行、広島北部森林管理署（現奈良森林管理事務所）の監督職員 藤原 誠

第二部門（治山）

- ・「妙婦谷溪間工事」を担当した株式会社岡本組の現場代理人 久保 直樹、監理技術者 脇 勇磨、三重森林管理署（現滋賀森林管理署）の監督職員 麻生 崇志

受賞工事はいずれも施工場所が豪雪地や急傾斜地、或いは民家等に隣接するなど作業条件が厳しい中で、確かな技術に基づく施工の丁寧さ、仕上がりの良さなど品質確保に努められていたことが高評価に繋がりました。



ニュース

平成27年度 第69回大山夏山開き祭

【鳥取森林管理署】 6月6日（土）・7日（日）に、だいせんちやうほうきちやう こうふちやう大山町、伯耆町、江府町に跨る大山国有林で、平成27年度第69回大山夏山開き祭が開催され、昨年に引き続き署長と森林官が参加し、神事等が執り行われました。



6日（土）の前夜祭では、まだ肌寒い中で1枚服を重ね着し、国有林に隣接する、大神山神社奥宮に参拝します。午後6時45分より登山

の安全祈願を行い、少し予定より遅れ午後7時45分から、約2,000本のたいまつにご神火を移し、境内をスタート。約1.5キロ先の博労座駐車場まで大山寺の参道を歩いて降りて行きました。

暗闇の中で、石畳の参道をたいまつ行列する姿は神秘的な光景で、参道べりでは、朝早くからカメラマ



ンがベストショットを撮影する為、場所を確保し、炎が帯のように連なる写真を撮影をしていました。

翌7日（日）は、10時から大山山頂で登山者の安全を祈願する、山頂祭神事を行うため、6時30分に大山治山事業所を出発しました。約3時間の道のりを夏山登山道で上っていきますが、事前に実施された登山道の



整備により道中も快適に登ることが出来、大山登山が始めての方や何回も登頂されている方なども、各自自分のペースで山頂を目指すことが出来ました。

また来年8月11日が新たな祝日「山の日」及び2月1日が、大山が国立公園に指定され80周年となることから、山頂でPRチラシ、缶バッジが配布され併せて登山マナーの啓蒙活動も実施されました。

今年は両日とも天候に恵まれ、山頂で営まれた山頂祭神事には、昨年を上回る約3百人が参列し、神職の祝辞

に続き、署長ら関係者の玉串がささげられ、登山者の安全を祈りました。

終了後、足元に気をつけて無事に下山をすることが出来、2日間、心地よい疲れとともに、安全を祈願し、明日からの無事故・無災害を思い帰路に着きました。



最後に、大山（標高1709メートル）は伯耆富士とも呼ばれ、中国地方最高峰の山です。登山道も整備されており、これからの季節、初心者の方でも安全に登山が出来ると思いますので、是非お越しください。

いぬぶせやま 犬伏山国有林クリーン作戦 - 国有林や市道の不法投棄物を回収・処理 -

【広島北部森林管理署】 5月27日（水）、江の川の源流に位置する犬伏山国有林とその市道の周辺において、不法投棄されたゴミの清掃活動「犬伏山国有林クリーン作戦」（共催：安芸高田市）を実施しました。今回の会場は昨年、一昨年に引き続き3回目の実施で、森林ボランティア団体「びほく・森のサポーターズ」、広島県OF会及び民間企業数社に当署を加えた総勢31名が参加し作業をしました。

当日は快晴となり、汗をかきつつも熱中症に十分注意しながら、皆で協力して冷蔵庫、テレビ、自転車、ソファ



などの大型ゴミや、草木の根に絡まった家庭ゴミなどを回収し分別しました。

また、民間企業がトラッククレーンで参加したこともあり、崖下にある大型ゴミの回収に威力を発揮しました。

想像以上のゴミの量に驚きの声をあげながら午前中で約1400キログラムもの不法投棄されたゴミを拾い出し、2トントラック2台に積み込みました。また、回収したゴミは、安芸高田市の処理施設に運び処理をして頂きました。

今後とも、地域の方々と連携しながら、不法投棄の撲滅に向けて取り組んでいきます。



マルチコプター ～その可能性～

【森林技術・支援センター】 みなさんはマルチコプターをご存知でしょうか？マルチコプターとは、3つ以上の



ローター（回転翼）を搭載し、操作の簡便さや自動ホバリング（上空で一点に静止すること）機能、そして上空からの鮮明な写真・動画撮影といっ

た機能を備えた小型無人ヘリコプターのことです。

森林技術・支援センターでも、上空から森林を撮影することで、森林の現状や自然災害による被害の速やかな把握などの効果を期待して今年の3月に導入しました。現在、岡山県新見市内の国有林において、技術開発試験地の状況把握や森林計画を樹立する上で必要な情報の収集などに活用しています。具体的には、上空からの写真を見ることで、その森林の樹種の構成を把握することなどに利用しています。これまで、このような調査は実際に森林の中に入ったり、別の場所からの遠望という方法を用いていましたが、マルチコプターを用いると、短時間で今現在の森林の状況を知ることができます。

センターでは、今後も引き続き、具体的な業務にどのような形で活かすことができるか検討していきたいと考えています。

なお、飛行に当たっては、一定の風速を超えると飛行しないなどの留意事項を定めるとともに飛行場所や時間等を記載する運転日誌を備え付け、安全に配慮しています。



ニッセイ賀茂の森 育樹活動を開催

【広島森林管理署】 5月30日（土）、広島県東広島市もすけやまの茂助山国有林において、「ニッセイ賀茂の森育樹活動」が開催されました。

この育樹活動は、日本生命保険相互会社の役職員で構成する「ニッセイの森友の会」が地域の方々に森林づくりの大切さを理解していただくため、全国各地のニッセイの森において森林づくりボランティアを開催しているものです。

当日はニッセイ緑の財団、ニッセイの森友の会員、黒瀬町森林組合の方々が参加し、広島森林管理署から



も署長を始め職員3人、総勢57人の参加となりました。

開会式後は5班に分かれ黒瀬町森林組合の方々の指導を受けながら間伐作業を行いました。

鋸を使って木を切る体験は初めての方がほとんど

で、四苦八苦しながらも木が倒れると大歓声がわきました。また、滑車付ロープを使って、伐採木を倒す作業なども体験しました。

当日は雨の心配もありましたが、作業中は時折日も差す天候に恵まれ、最後には木製コースターのプレゼントもあり、参加者一同貴重な体験となりました。



トライやるウィーク ～中学生の職場体験活動

【兵庫森林管理署】 宍粟市では、6月1日（月）から6月5日（金）までの5日間、中学校2年生の長期職場体験学習「トライやるウィーク」が実施され、兵庫森林管理署では市立山崎西中学校男子5名の生徒を受け入れました。

トライやるウィークは、思春期であり、将来の進路への複雑な思いのある中学生の時期に、知育に偏りがちな教育だけでなく、地域に学び、共に生きる心や感謝の心を育み、自律性を高めるなど「生きる力」の育成を図るためにと、兵庫県全域で実施されている公立中学校の正規課程です。今年で18年目を迎え、受け入れ事業所・施設によっては「トライやる受け入れ」の看板を掲示するほど社会に定着してきています。

兵庫森林管理署での5日間では、森林の巡視、立木の調査、間伐の実習、植付け体験、シカ防護柵の補修、治山工事箇所の修繕（土のう作りと積み上げ）、木の伐採搬出現場・木材市場の見学を行いました。



に驚き、立木調査ではコンパスや輪尺を使い真剣な表情で測量をしていました。

また、植付け体験や治山の補修では疲労困憊しながらも最後までやり通すことができて満足そうでした。さらに、

丸太を軽々と持ち上げる大型機械の動きに目を輝かし、



になりながらもいい体験をした」、「土のうづくりはたい

木材市場では初めて間近で見る競り売りの様子に興味津々な表情をしていました。

生徒からは、「先代スギが樹齢400年と知って驚いた」、「コンパスの使い方など初めて知って勉強になった」、「植付け体験はドロドロ

へんだったけど近所の人たちが喜んでくれてよかった」、「木の伐採搬出見学では大きな機械を見ることができておもしろかった」、「林業は命がけだと感じた」、「森林を守っていく必要がある」などの感想がありました。

今回の体験・活動を通じて、学校では学べないなんらかの「生きる力」が生徒に芽生えてくれることを願うとともに、これを機会に森林や森の恵みである木材に興味や関心を持って頂ければと思います。



さんべさん 三瓶山ふれあいの森森林教室

【島根森林管理署】 5月の爽やかな風が心地良い三瓶山国有林（西の原）において、5月24日（日）に「三瓶山ふれあいの森」の協定相手方である「しまね子どもセンター」と合同で森林教室を行いました。

参加対象は、6才～11才の計16人と、保護者、スタッフを含めた25人で実施しました。

始めに、スタッフの自己紹介・山に入る際の注意事項・西の原で昭和63年に起こった大面積の山火事被害の概要と、それに伴って起きた出来事等について説明を行いました。

西の原から作業地のある国有林への歩道は、緩やかな上りが続いていることから、30分程度ではありますが、子供達は元気に歩きました。

道中では、放牧されている牛を見て、はしゃいでいる子供、少し疲れた様子の子供、山の中に入り傾斜が急になった辺りから、歩き方のコツをつかむまで歩きにくそうにしている子供も見受けられましたが、子供達は本日



の作業地である、山火事跡地に植栽し育ててきた「ドングリコロコロの森」に無事に到着することができました。

作業地に到着後は、作



業の目的、内容、注意事項について説明し、除伐とツル切り作業を開始しました。

ノコギリを使って木を伐りたいという元気一杯の子供から、ツルを丁寧に綺麗に取り除こうとする、几帳面な子供もいて、子供達の個性が感じられました。



また、子供が作業をするには、太くて固い木もありましたが、途中で投げ出さずに伐り終えた後に、満足げな顔を見せてくれる子供もいました。

昼の休憩時間には、林内を歩き回り、自然の中から遊び道具を見つけて遊んでいる子供達を見て、自分の子供の頃を思い出し、少し元気を分けてもらった気分になりました。



昼休憩後は、林内で植物観察を行いながら下山し、下山後は、西の原の駐車場において、木の輪切りにイラストを書く等の木工を行い、お土産と思い出を持ち帰りました。

お知らせ

7・8月は、ワークライフバランス強化月間です。

近畿中国森林管理局においても、ワークライフバランス推進の為、『ゆう活』に取り組みます。

業務に支障をきたすことがない様、適切に実施していく事としていますので、ご理解ご協力をお願い致します。



第32回夏休み木工教室 『マガジンラック』作り

和歌山森林管理署では、毎年夏休みに近隣の小学校5・6年生を対象に木工教室を開催しています。

夏休みの思い出や宿題に紀州材を使い、木製台を作ってみませんか？初めてでも、スタッフがアドバイスしながら、一緒に作っていきます。

* 募集期間、定員

7月21日（火）から、先着30名
（定員になり次第締め切りとなりますので、御了承下さい。）

* 開催日時

8月25日（火）9時30分～15時ごろまで

* 会場

和歌山森林管理署 1階会議室

* 参加対象

田辺市・上富田町周辺の小学5・6年生

* 参加費

200円（保険代＋諸経費）当日お支払いください。

* 持ち物

鉛筆、消しゴム、お弁当、お茶、タオル、参加費（木工で使う材料・道具は、用意しています。）

* 申込み方法

電話又はFAXにて受付します。

（午前9時から17時まで、土日祝を除く）

FAXの方は受付確認の為、電話又は確認のFAXをしますので、必ず電話番号・FAX番号をご記入下さい。

郵便番号・住所・電話FAX番号・お名前（ふりがな）・学校名・学年をお聞きします。

* その他

当日、自転車で来られる場合は、出来上がりサイズ（縦25cm、横35cm、幅20cm）が入る大きさ目の袋または、荷物結び用のゴムひも等をご用意ください。

* お問い合わせ・申込み先

和歌山森林管理署 木工教室係

TEL：050-3160-6120

FAX：0739-25-5433

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/information/32kai_mokkoukyousitu.html

「夏休み子ども消費者の部屋」

-親子木工教室-

今年も、下記のとおり親子木工教室を開催します。
皆様のご参加をお待ちしております。

* 募集締め切り

7月21日(火) 午前中必着

* 開催日時・内容

7月30日(木) **木工工作** (小学生の親子)

9:30~11:30 13:30~15:30

7月31日(金) **「水源の森」シオラマづくり**

(小学5,6年生の親子向き)

9:30~11:30 13:30~15:30

* 対象者・定員

小学生の親子・両日各回10組 (延べ40組)

* 会場

京都大阪森林管理事務所 会議室

(地下鉄「丸太町」駅下車徒歩約15分、京都府庁西隣、
京都農林水産総合庁舎 近畿農政局1階)

* 申込み方法

[往復はがき] にて、[参加者全員の氏名(フリガナ)・郵便番号・住所・学年・連絡先・参加希望日時] をご記入のうえ、ご応募ください。

* その他

参加費は、一人200円です。(保険代・材料費)
両日とも安全管理の為、就学前のお子様の同伴は
ご遠慮願います。

応募者多数の場合は、抽選により決定します。
当選者には、開催日の約1週間前に当選通知をお
送りします。

* お問い合わせ・申込み先

京都大阪森林管理事務所

〒602-8054

京都市上京区西洞院通り下長者町下ル丁子風呂町

TEL: 075-414-9822 (担当直通)

HP: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kyoto/information/H27/270730mokkokyositsu.html>

「山の日制定記念 水都おおさか森林の市2015」出展募集

「山の日制定記念 水都おおさか森林の市2015」
では、開催趣旨にご賛同いただける法人、企業、団体等
からの出展を募集しています。

森林づくり活動の紹介や、木の良さに触れる体験、地
域の特産品のPR、林産物の販売等、幅広い出展をお待
ちしております。

* 申込み締切

7月31日(金)

* 開催日時

10月4日(日) 10時~16時 雨天決行

* 開催場所

近畿中国森林管理局・毛馬桜ノ宮公園

* テーマ

大川端で森林を体感 ^{もり} 森林から学ぼう ^{もり} 地球の未来

* 出展内容ほか

・森林の恵み、木の良さ等を五感で体験できる内容
及び農山村地域の魅力を伝える内容

・開催中は、最終時間まで出展イベントを盛り上
げていただける事

・実行委員会や保健所等の定める規則を厳守できる方

* 申込み方法

ホームページ記載の「出展募集要領」をよくご確認
いただき、「出展申込書」に必要事項を御記入の上、Eメー
ル・郵送・FAX いずれかにて事務局までお送り下さい。

* その他

出展料は無料です。(テント等を含む出店に関する
費用は各自ご負担下さい。)

ご自身で食品を製造して販売する場合は、営業許
可証あるいは製造業許可証をお持ちの方に限ります。

開催趣旨に沿わない場合、お断りする場合もござ
います。

8月下旬頃に出展者の決定についてお知らせする
予定です。

* お申込み・お問い合わせ

水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会事務局
近畿中国森林管理局 技術普及課

TEL: 050-3160-6753 FAX: 06-6881-2055

Eメール: kc_shidou@rinya.maff.go.jp

HP: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>

平成27年度森林環境教育（森林ESD） 活動報告発表団体を募集しています

ESD の視点で活動を見直してみませんか？

森林環境教育の実践事例やその成果についての活動報告・意見交換会を通して、成果の共有化・相互交流により、活動の活性化と「森林」での環境教育（ESD）の普及を図ります。

報告会でレベルアップと交流を深めよう！

* 応募締切

9月30日（水）

* 開催日時・場所

平成28年1月25日（月） 13時～17時
近畿中国森林管理局 大会議室

* 募集数

10団体（10事例）

* 応募資格

近畿中国森林管理局管内の国有林・民有林等で森林を活用した森林環境教育を実践している学校関係や森林ボランティア団体、企業、公共機関。

* 申込み方法

HP掲載の申込用紙に必要事項を記入し、郵送又はFAXでご応募ください。

* 決定通知

活動内容等を審査し、10月20日までに直接通知します。

* その他

報告発表は、12分です。

団体の発表者1名の旅費を当局が負担します。

発表内容については、取りまとめの上、公表します。当日は、発動報告発表（10団体）、講演及び意見交換、参加者交流などを予定しています。

発表結果については、箕面森林ふれあい推進センター、きんき環境館、大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはじ」の事業の中で、事例報告として活用させていただきます。

* お問い合わせ・申込み先

箕面森林ふれあい推進センター

TEL：050-3160-6727 FAX：06-6881-2055

E-Mail：kc_fureai@rinya.maff.go.jp

HP：http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/h27-esd.html

もり 森林のギャラリー（局庁舎1階）

【7月のテーマ：自由展示】

7/21～7/31 森のオアシス

【スモールアート協会】

【8月のテーマ：イベント】

8/2～8/8 ドールハウス五番街作品展 in 大阪

【ドールハウス五番街】

8/10～8/21 信州の森林を次世代へ

【長野県林務部】

8/27～8/28 森林（もり）のつどい2015

【ピノキオ絵本で遊ぼう会】

【9月のテーマ：森林の絵画展】

8/31～9/11 第5回絵画グループ「くりえいと展」

【絵画グループ「くりえいと」】

花草木

今月の花草木は「シロツメクサ」です。

シロツメクサは、ヨーロッパ原産地の、シャジクソウ属の多年草で、別名は「クローバー」です。

漢字表記は、「白詰草」で、1846年（弘化3年）にオランダから献上されたガラス製品の包装に緩衝材として詰められていたことから「つめくさ（詰め草）」の名がついたとされています。

シロツメクサの葉は、3小葉からなる複葉で、時に4小葉やそれ以上のものもあり、特に4小葉のものは「四つ葉のクローバー」として珍重されます。

日本では、明治時代以降、家畜の飼料用として導入されたものが野生化しました。根粒菌の作用により窒素を固定することから、地球を豊かにする植物として緑化資材にも用いられ、雑草防止、土壌浸食防止等に利用されることもあります。

花言葉は、「復讐」

（シロツメクサ・しろつめくさ、白詰草）「約束」「私を思って」（四つ葉）「幸福」「私のものになって」。